

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和04年01月11日

計画の名称	山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画(重点)												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	兵庫県												
計画の目標	鳥取県・兵庫県・京都府の3府県の日本海沿岸部をエリアとする、世界ジオパークネットワークに加盟の“山陰海岸ジオパーク”圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地域資源を保全し、教育・観光・地域産業に活用することで、地域活性化を図る活動が行われている。これらの活動に合わせ、拠点施設間のアクセス強化や拠点施設周辺の整備を推進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,800	A	2,800	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26~H28平均値)	中間目標値 (H32)	最終目標値 (H34)
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数273万人(H26~H28平均値)から286万人(H34)に増加 (13万人(5%)の増加) 【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26~28年度の年間観光入込客数の平均値) / (H26~28年度の年間観光入込客数の平均値)	273万人	281万人	286万人
2	【兵庫県 単独目標】 観光入込客数156万人(H26~H28平均値)から163万人(H34)に増加 (7万人(5%)の増加) 【兵庫県 単独目標】 兵庫県内の山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26~28年度の年間観光入込客数の平均値) / (H26~28年度の年間観光入込客数の平均値)	156万人	160万人	163万人
3	【兵庫県 重点目標】 観光入込客数131万人(H26~H28平均値)から137万人(H32)に増加 (6万人(5%)の増加) 【兵庫県 重点計画目標】 豊岡市 豊岡・城崎地区内にある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26~H28の年間観光入込客数の平均値) / (H26~H28の年間観光入込客数の平均値)	131万人	135万人	137万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
全体事業費に占める効果促進事業費(提案事業)割合は、0%となる。 その他事項については、備考-1に記載。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(一)戸島玄武洞豊岡線 赤石工区	現道拡幅 L=0.6km	豊岡市						650		-	
	A11-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	国道	改築	(国)312号 下宮工区	現道拡幅 L=0.2km	豊岡市							400		-
	A11-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)豊岡瀬戸線 湯島 工区	現道拡幅 L=0.4km	豊岡市							750		-
	A11-004	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)豊岡竹野線 今津 (右岸)工区	バイパス L=0.8km	豊岡市							900		-
	A11-005	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(一)戸島玄武洞豊岡線 赤石2工区	無電柱化 L=0.4km	豊岡市							100		-
												小計						2,800		
												合計						2,800		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
本整備計画の連携先である鳥取県、京都府と本整備計画作成主体である本県道路主管課において相互に調整を行い、実施する。	令和3年12月
	公表の方法
	インターネット（兵庫県HP）での公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	県道戸島玄武洞豊岡線では、拠点施設である玄武洞公園のリニューアルオープンに向け、豊岡市計画の園内整備工事と併せ公園前の現道拡幅等を実施しており、幅員狭小箇所の解消や拠点施設周辺の景観向上に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、本社会資本整備総合交付金等を活用し、山陰海岸ジオパークエリアの観光拠点へのアクセス道路などの基盤整備を進める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	中間目標値	281万人	<p>県道戸島玄武洞豊岡線の整備等により、安全で円滑な交通を確保し、拠点施設へのアクセス性も向上している。平成30年度は、7月豪雨や8月の台風等の自然災害、積雪不足の影響を受け実績値は263万人に止まるも、令和元年度の実績は279万人と基準年度273万人に比べて2%増加していた。しかしながら、中間目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。</p>
	中間実績値	134万人	
2	中間目標値	160万人	<p>県道戸島玄武洞豊岡線の整備等により、安全で円滑な交通を確保し、拠点施設へのアクセス性が向上したものの、平成30年度は、7月豪雨や8月の台風等の自然災害、積雪不足の影響を受け実績値は144万人に止まり、令和元年度は暖冬による雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績は138万人と基準年度156万人に比べて減少した。中間目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。</p>
	中間実績値	67万人	
3	中間目標値	135万人	<p>県道戸島玄武洞豊岡線の整備等により、安全で円滑な交通を確保し、拠点施設へのアクセス性が向上したものの、平成30年度は、7月豪雨や8月の台風等の自然災害の影響を受け実績値は132万人に止まり、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績値は129万人と基準年度131万人に比べて減少した。中間目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。</p>
	中間実績値	65万人	

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和04年01月11日

計画の名称	山陰海岸ジオパーク圏域3府県周遊観光活性化計画												
計画の期間	平成30年度～令和04年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	兵庫県												
計画の目標	鳥取県・兵庫県・京都府の3府県の日本海沿岸部をエリアとする、世界ジオパークネットワークに加盟の“山陰海岸ジオパーク”圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地域資源を保全し、教育・観光・地域産業に活用することで、地域活性化を図る活動が行われている。これらの活動に合わせ、拠点施設間のアクセス強化や拠点施設周辺の整備を推進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,300	A	3,300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26~H28平均値)	中間目標値 (H32)	最終目標値 (H34)
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数273万人(H26~H28平均値)から286万人(H34)に増加 (13万人(5%)の増加) 【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26~28年度の年間観光入込客数の平均値) / (H26~28年度の年間観光入込客数の平均値)	273万人	281万人	286万人
2	【兵庫県 単独目標】 観光入込客数156万人(H26~H28平均値)から163万人(H34)に増加 (7万人(5%)の増加) 【兵庫県 単独目標】 兵庫県内の山陰海岸ジオパークエリアにある拠点施設の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26~28年度の年間観光入込客数の平均値) / (H26~28年度の年間観光入込客数の平均値)	156万人	160万人	163万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
全体事業費に占める効果促進事業費(提案事業)割合は、0%となる。 その他事項については、備考-1に記載。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	国道	改築	(国)482号 片間工区	現道拡幅 L=1.0km	豊岡市						600	-	
	A11-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)日高竹野線 轟工 区	現道拡幅 L=0.3km	豊岡市							550	-
	A11-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)香住村岡線 境工 区	現道拡幅 L=0.8km	香美町							950	-
	A11-004	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(一)茅野福岡線 大谷 バイパス	バイパス L=1.7km	香美町							600	-
	A11-005	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(一)福岡出合線 葛畑 工区	現道拡幅 L=0.1km	養父市							150	-
	A11-006	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)関宮小代線 吉井 工区	バイパス L=2.1km	養父市							450	-
											小計							3,300	

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
本整備計画の連携先である鳥取県、京都府と本整備計画作成主体である本県道路主管課において相互に調整を行い、実施する。	令和3年12月
	公表の方法 インターネット（兵庫県HP）での公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	県道福岡出合線の現道拡幅や県道関宮小代線のバイパス整備を行った結果、幅員狭小箇所等が解消され交通の流れもスムーズとなったことで、拠点施設である八チ北スキー場への移動時間が約2分短縮され、観光客等の移動の利便性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、本社会資本整備総合交付金等を活用し、山陰海岸ジオパークエリアの観光拠点へのアクセス道路などの基盤整備を進める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	中間目標値	281万人	<p>県道福岡出合線や県道関宮小代線の整備等により、安全で円滑な交通を確保し、拠点施設へのアクセス性も向上している。平成30年度は、7月豪雨や8月の台風等の自然災害、積雪不足の影響を受け実績値は263万人に止まるも、令和元年度の実績は279万人と基準年度273万人に比べて2%増加していた。しかしながら、中間目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。</p>
	中間実績値	134万人	
2	中間目標値	160万人	<p>県道福岡出合線や県道関宮小代線の整備等により、安全で円滑な交通を確保し、拠点施設へのアクセス性が向上したものの、平成30年度は、7月豪雨や8月の台風等の自然災害、積雪不足の影響を受け実績値は144万人に止まり、令和元年度は暖冬による雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績は138万人と基準年度156万人に比べて減少した。中間目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。</p>
	中間実績値	67万人	

(参考様式) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)

